

☆講 演☆

- ◆助教 佐藤壽芳, 講師 鈴木浩平「On the Response Analysis of the Structure System Subjected to Multi-Seismic Motions」5 WCEE, Rome, (1973.6.25)
- ◆教授 尾上守夫「Acoustic Emission Research in Japan」Acoustic Emission Working Group Meeting at Richland, Washington, U. S. A. (1973.7.18)
- ◆助教 生駒俊明, 大学院生 原 和裕「バリットダイオードのマイクロ波特性—実験結果と小信号解析」電子通信学会, 電子装置研究会, 東北大学電気通信研究所において(1973.7.23)
- ◆助教 生駒俊明「原理的デバイス」ファンクショナルデバイス講演会, 機械振興会館において(1973.7.23)
- ◆助教 高羽禎雄「自動車の情報収集と伝達システム」自動車技術会「自動車エレクトロニクス」講習会, 日本都市センターにおいて(1973.7.25)
- ◆教授 高木幹雄, 大学院生 津田俊隆「高効率多モードランゲルス符号」電子通信学会通信方式, 画像工学研究会, 機械振興会館において(1973.7.26)
- ◆教授 尾上守夫, 技官 浜野亘男, 技官 大場一彦「Computer Analysis of Traffic Flow Observed by Subtractive Television」U.S.-Japan Seminar on Picture and Scene Analysis at Kyoto (1973.7.26)
- ◆教授 尾上守夫, 助教 高木幹雄, 元大学院生 行松健一「Chromosome Analysis by Minicomputer」同上(1973.7.27)

☆寄 稿☆

- ◆教授 尾上守夫「Acoustic Emission とその構造物, 安全性監視への応用について」(日米合同シンポジウム報告) 圧力技術 Vol. 11, No. 2, p. 65~69, 1973.
- ◆教授 尾上守夫, 技官 小林洋一「固体にはさまれた流体中の超音波伝播」日本音響学会誌, Vol. 29, No. 7, p. 397~402 (1973-7)
- ◆教授 尾上守夫「表面波デバイスの将来」エレクトロニク・セラミックス Vol. 4, p. 57~60, (1973-7)

☆海外渡航☆

- ◆第2部 松永正久教授はアメリカ潤滑学会'73年々次会議出席(4.28~5.14)
- ◆第4部 山辺武郎教授はスイスで開催された第1回液体クロマトグラフィ国際会議に出席(4.29~5.18)
- ◆第3部 斎藤成文教授はアメリカで開催された国際連合宇宙空間平和利用委員会科学技術小委員会に出席(5.6~6.3)
- ◆第5部 井口昌平教授はフランスで開催された国際水文学 10

年計画調整理事会の水循環におよぼす人的影響に関する作業部会の第8回会議に出席(5.16~6.6)

- ◆第2部 平尾 収教授は大韓民国ソウル市で開催された韓国機械学会春季講演会に出席(5.29~6.4)
- ◆第4部 熊野鈴 徒助教はアメリカ合衆国ダコタ州立大学主催の金属毒物等と塗装に関するシンポジウムに出席(6.1~6.24)
- ◆第5部 三木五三郎教授はイタリア・ピサ市斜塔補強工事に伴う地盤調査のため(7.14~7.22)
- ◆第5部 丸安隆和教授はインドネシア共和国・バリド河流域地形図作成打合せのため(6.11~6.17)
- ◆第1部 田村重四郎助教, 加藤勝行助手 第2部 柴田 碧教授, 鈴木浩平講師, 第5部 片山恒雄助教, 佐藤暢彦助手はイタリア・ローマ市で開催された第5回世界地震工学会に出席(6.22~7.12)
- ◆第5部 久保慶三郎教授も同上の会議に出席(6.18~7.8)
- ◆第2部 佐藤壽芳助教も同上の会議に出席(6.23~7.2)
- ◆第4部 武藤義一教授はドイツ連邦共和国フランクフルト市で開催された第17回欧州化学工学会に出席(6.18~7.6)
- ◆第3部 浜田喬助教はアメリカ・カリフォルニア工科大学において交通工学ならびに交通制御の研究調査のため(8.27~8.31)

◆第1部 山田嘉昭教授はカナダ・カルガリ大学において開催された有限要素法の理論と応用に関する国際研究セミナーに出席(7.22~8.24)

◆第3部 尾上守夫教授はアメリカ・リッチランドで開催されたアコースティック・エミッション・ワーキンググループの年次会議に出席(7.8~7.23)

◆第4部 白石振作助教はハンブルグ市で開催される第24回IUPAC コンプレックスおよびバンデン市で開催されるIUPAC 国際高分子シンポジウムに出席のため8月19日出発9月16日帰国予定

◆第1部 岡田恒男助教はアメリカ・カリフォルニア大学において学校建築の安全性に重点をおいた地震工学に関する研究調査のため(7.15~7.27)

◆第4部 加藤正夫教授はイスラエル・ハイファーで開催される国際原子力機関主催のアイソトープ応用工学の大学教育に関する国際専門家会議に出席のため7月26日出発9月15日帰国予定

◆第5部 三木五三郎教授はソ連・モスクワ市で開催される第8回国際土質基礎工学会に出席のため8月7日出発9月2日帰国予定

☆所内人事☆

- ◆第5部 丸安隆和教授は8月1日付を以って東京大学工学部に配置換, 本所と併任。
- ◆第4部 大蔵明光助手は8月1日付を以って講師に昇任

☆ 筆 者 紹 介 ☆

- ◇川井 忠彦 (Tadahiko KAWAI) 教授 工博 専攻・溶接構造力学, 構造解析学
- ◇藤谷 義信 (Yoshinobu FUJITANI) 助手 専攻・建築構造力学
- ◇小瀬 輝次 (Teruji OSE) 教授 工博 専攻・応用光学
- ◇武田 光夫 (Mitsuo TAKEDA) 大学院生 専攻・同上
- ◇西川 精一 (Seiichi NISHIKAWA) 教授 工博 専攻・金属材料学
- ◇楠 克之 (Katsuyuki KUSUNOKI) 大学院生 専攻・同上
- ◇野崎 弘 (Hiroshi NOZAKI) 教授 工博 専攻・工業電気化学および光化学
- ◇後藤 信行 (Nobuyuki GOTOH) 教授 工博 専攻・有機合成化学
- ◇李 章 鎮 (Jan Ho Li) 技官 専攻・同上
- ◇鈴木 弘 (Hiromu SUZUKI) 教授(所長) 工博 専攻・

- 塑性加工学
- ◇木内 学 (Manabu KIUCHI) 助教 工博 専攻・同上
- ◇新谷 賢 (Ken SHINTANI) 技官 専攻・同上
- ◇三浦 史明 (Fumiaki MIURA) 研究員 専攻・同上
- ◇高 正植 (Joungshik KO) 研究生 専攻・放射線工学
- ◇片岡 邦郎 (Kunio KATAOKA) 助手 専攻・同上
- ◇一色 貞文 (Sadabumi ISSHIKI) 教授 工博 専攻・同上
- ◇石田 洋一 (Yoichi ISHIDA) 助教 助. Ph. D 専攻・金属物性工学
- ◇中村 成子 (Shigeko NAKAMURA) 技官 専攻・鉄鋼製錬工学
- ◇館 充 (Mitsuru TATE) 教授 工博 専攻・同上
- ◇佐藤 壽芳 (Hisayoshi SATO) 助教 工博 専攻・切削工作学

出版委員長 安 達 芳 夫 出版委員 高 橋 幸 伯  
 出版委員 大 井 光 四 郎 生 駒 俊 明  
 \*根 岸 勝 雄 藤 井 陽 一  
 吉 識 靖 夫 高 橋 浩

出版委員 \*井 野 博 満 専門委員 井 口 昌 平  
 村 上 周 三 池 辺 陽  
 片 山 恒 雄 石 田 洋 一  
 \*印 当 番 委 員 編 集 室 水 野 晴 明

第 25 卷 第 9 号 生 産 研 究

1973 年 9 月 1 日 発 行

(本誌は生産技術研究所の研究紹介誌として, 毎月1回発行する)

発 行 所 東 京 大 学 生 産 技 術 研 究 所

郵便番号 106  
 東京都港区六本木 7-22-1  
 電話東京 03 (402) 6231 (大代表)  
 千葉実験所 千葉市弥生町 1-8  
 電話千葉 0472 (51) 8311 (代表)

頒 価 340 円

編 集 者 安 達 芳 夫  
 発 行 者 鈴 木 弘

印 刷 所 三 美 印 刷 株 式 会 社  
 東京都荒川区西日暮里 5-9-8